



防災士からのワンポイント情報

災害時にとるべき行動の原則

危機管理の基本的な考え方にプロアクティブの原則があります。災害時には、どのような行動をとるべきかを考える際の参考にしてみてください。

- ① 疑わしきは行動せよ
- ② 最悪事態を想定して行動せよ
- ③ 空振りは許されるが、見逃しは許されない

「^{じゅえんりょく}受援力」を高めて防災力向上へ

災害への備えの中で、大切なことに「受援力」を高めることがあります。受援力とは、災害ボランティアなどの支援を受け入れるために必要な力のことを言います。

被災された方の中には、申し訳ないという気持ちで、ボランティアを遠慮したり、優先すべき場所ではない場所への支援をお願いしてしまい、トラブルになったこともあるそうです。

被災した際に1日でも早く復旧するためにも、平常時から「受援力」について知識を蓄えましょう。

お互いを助け合うために「自主防災組織」

「自主防災組織」とは、地域住民の皆さんが自主的に運営する防災組織です。

災害による被害の防止や軽減などを図り、住みよい地域づくりを目的に各地域の組織が活動されています。

芳野町地区7町内会 自主防災組織の活動をご紹介します

- ・七町内防災マップを配布
- ・独居高齢者世帯緊急連絡票を配布
- ・防火訓練、避難訓練、研修会
- ・独居高齢者宅への年末慰問など



自主防災組織というと難しくとらえがちですが、普段から近所の方とコミュニケーションをとり、災害時には、お互いに助け合い被害を減らすことが組織の基本だと思います。近所の方と何気なくあいさつをするなど、普段からの付き合いをこころがけ、避難訓練などに参加できる時は参加し、皆さんで防災意識を高めましょう。



芳野町地区 区長
みずたに 文男 さん

10月8日(土) 午前8時～正午 福井県防災訓練を開催します

園総務課 ☎88-8125

震度6弱の地震発生を想定した訓練を実施します。どちらの会場も見学・体験コーナーがありますので、ぜひご参加ください。

●人命救助訓練、水防訓練、ライフライン復旧訓練

ところ▶弁天緑地

●住民避難訓練

ところ▶ジオアリーナ



防災訓練の
詳細はこちら

過去の訓練時に実施した
「倒壊建物火災消火訓練」



活用方法(例)

- 「洪水・土砂災害地域」や「避難場所」を確認
- 「気象情報などの防災情報」などの情報を正しく理解し、災害時にとるべき行動を考える
- 「非常持出品」などを確認

わが家の避難行動指針

「マイ・タイムライン」

災害時に取る行動を家族と話し合ってみてください。

詳しくは、ハザードマップ35～36ページに掲載してあります。



防災士さんに
聞きました

大切な命を 守る備えとは

お話を伺ったひと



県防災士会 理事
たつひら まさかつ
立平 政勝 さん

近年、全国各地でこれまで経験したことがないような自然災害が起こっていますが、どこか他人事のようには考えていた方も多いのではないのでしょうか。

いつどこで起こるか分からない自然災害は、人間の力で止めることはできません。

しかし、事前に災害に備えることで被害を減らすことは可能です。

自分自身や家族でできる災害への備えについて防災士として活躍する立平さんにお話を伺いました。

「**災害が起こった時
自分の命は
誰が守りますか**」

災害時の基本

「自分の命は

自分で守る」

公的機関は、平時であれば、迅速な対応ができますが、災害時、特に広範囲にわたる災害が起きた時は、被災者全員を同時に対応することが困難となります。

そのため、一人ひとりが災害時にはどのように行動するかを平常時から考え、準備しておくことが重要です。

ハザードマップなどを活用しながら次の3つのことを考え、情報を収集してみてください。

① 避難する時の行動

いつ・どこに・どのように避難するかなど

② 避難した時には何が必要か

非常持出品の確認など

③ 被害を受けた場合、どのような支援を受けられるのか

※ハザードマップは
8月12日に全世帯に
配布しています

